

令和 6 年 6 月 7 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 大坪正幸

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 旧寺師医院の利活用の進捗状況について

答弁を求める者 市長

「そういえば旧寺師医院、そのまんまらけど一体どうするんだろかね？」

そんな市民の皆さまの声をお聞きすることも少なくなったが、残念ながらお答えできないのが現状である。令和 4 年に市へ寄付採納された旧寺師医院の利活用について一般質問で取り上げたい。

令和 4 年 9 月 16 日、議員協議会において企画調整課から旧寺師医院に係る土地 (136 坪)・建物 RC3 階建て (延床面積 235 坪) の寄付採納についての説明があった。(資料 1) その後、令和 4 年 11 月 28 日、議員協議会が開かれ 9 月に引き続き本件の 2 回目の説明が行われた。(資料 2)

市によれば今後の活用方針を「まちや産業の活性化等に寄与するような取り組みにつなげていきたいと考えております。現在、地域力創造アドバイザーを迎え、市内のまちづくりに関与いただいている状況もあることから、アドバイザーからの情報や、市民の方々の声、他市の先進事例などを参考に今後、検討を進めていきます」との説明がなされた。

2 回目の議員協議会から 1 年半以上経過するが、旧寺師医院の利活用について現在までの進捗状況をお尋ねする。

- 1 未だに利活用の方向性が示されていない。現在までにどのような検討がなされたのか、利活用の方向が決まっていない理由は何か。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



- 2 利活用を検討し推進してくための主たる担当課はどこか。
- 3 市民を交えた検討委員会を立ち上げなかったのか、立ち上げる予定はないのか。
- 4 市民、団体等から意見や要望はどのように収集したのか。意見、要望は具体的にどのようなものか。
- 5 利活用されないまま放置されていることに市の認識を伺う。
- 6 地域力創造アドバイザー近藤威志氏をはじめ地域活性化起業人から利活用に関するアイデア、知見を求めたのか。求めなかったとしたら理由は何か。
- 7 総合的に判断して寄付採納を受けたということだが、未だに利活用が決まらないことを勘案すると、本当に寄付採納の判断は適正だったのか、当局の見解を伺う。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 市の財政見通しの下振れリスクについて

答弁を求める者 市長

本年 5 月 14 日から 16 日まで総務文教委員会の行政視察で北海道の夕張市、登別市、江別市を訪問した。平成 19 年に財政再建団体となり財政破綻した夕張市の今年度の行政視察の受入れについては日程が合わなかったため夕張市から説明を受けることは叶わなかったが、図書館、こどもの居場所、公共交通の発着所、市の施設等が入った「リスタ」という公共複合施設で夕張市の教育長や施設長のお話を伺うことができ、厳しい状況にあっても未来に希望をつないでいこうとする息吹も感じさせられた。

厳しい財政状況は夕張市内各地に点在する、取り壊されずに放置された廃墟の多さにも表れていた。改めて自治体が破綻するとまちはどうになってしまうのかを肌で感じる事ができた。市民の負託を受けた議員、議会の責務として、市の財政が危機的な状況に陥らないようにチェックしなければならないと痛感させられた。

本年 4 月 19 日の議員協議会において見附市中長期財政計画の説明があった。令和 3 年度(令和 4 年 2 月)に策定した見附市中長期財政計画について、令和 4 年度決算額等に基づき推計を更新するとともに、新たに公表された大型建設事業の事業費等を算定に反映した令和 6 年 4 月更新版である。(資料 3)

今後の財政運営についての本市の課題として「更新による評価」には「このままいくと財政調整基金が令和 12 年度になくなることが見込まれます。新型コロナウイルスの社会情勢の影響は縮小していくものの、また、円安や物価高騰等による経済状況の変化を今後も注視していく必要があります。これらを踏まえ、将来にわたって安定した財政運営を可能にする財政体質改善の取組を加速していく必要があります」とある。以下、市の財政見通しにおいて今後の下振れリスクについてお尋ねする。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

- 1 今後、大きな財政支出が確実に見込まれるが、中長期財政計画に計上されていない具体的な事業、施策と現時点で見込まれる事業費、財源を伺う。
- 2 今後の取組として歳入の確保、歳出の見直し、施設所有総量の最適化が書かれている。また、更新による評価には「上記の取組内容について、施策の具体化をより加速して実現していくことが必要と考えています」とある。施策の具体化を加速するためには何が必要か、今後の取組、行程を伺う。
- 3 財政の弾力性を表す経常収支比率が令和 7 年度以降 90%を切り 80%台に改善されている。見附市の財政のウイークポイントであった経常収支比率が大きく改善される見通しだが、その根拠、理由を伺う。
- 4 令和 6 年のデータによれば令和 12 年に財政調整基金が▲6 億 9,900 万円と見込まれている。(資料 4) 財政調整基金がマイナスの状況とはどのようなものか、財政において具体的にいかなる影響が生じるのか。今後、財政の見通しが大きく下振れする可能性、リスクはないのか、当局の認識をお尋ねする。

中長期財政計画 令和 12 年 基金残高見込

公表年	財政調整基金残高	減債基金残高	その他特定目的基金	合計
令和 4 年	13 億 7,200 万円	0	5 億 7,500 万円	19 億 4,700 万円
令和 5 年	▲5 億 7,500 万円	0	3 億 6,700 万円	▲2 億 800 万円
令和 6 年	▲6 億 9,900 万円	0	3 億 7,600 万円	▲3 億 2,200 万円

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

見附市市議会議員各位

令和4年9月16日
企画調整課

旧寺師医院に係る土地・建物の寄付採納について

見附市本町1丁目4-46の旧寺師医院の土地・建物について、以前より寄付したい旨のご相談を受けていたところですが、このたび、令和4年5月に寄付者側の相続等の事務処理が完了したことを受け、市として寄付の申し出を受けることを前提に、事務処理を進めることとしましたことをご報告いたします。

1. 寄付を受ける物件の概略



土地：見附市本町1丁目
1081-1 外 約 450 m² (測量未
完了のため概算面積)

建物：1081番1 RC造3階建
て(S62 建築) 延床 776.87 m²
(※駐車区画数4台)

2. 寄付を受けることとした理由

旧寺師医院においては、新町、本町商店街の中間地点に立地し、まちや産業の活性化に寄与する取り組みに利活用できることが見込まれます。また、建物に関しても、令和2年度まで開業されており、外観、内観ともに大きな損傷は目視で見受けられず、十分使用に耐えうる状態であると判断されることから、寄付を受けることとしたものです。

3. 今後の活用方針について

今後の活用方針について、決定はしておりません。まちや産業の活性化等に寄与するような取り組みにつなげていきたいと考えております。

現在、地域力創造アドバイザーを迎え、市内のまちづくりに関与いただいている状況もあることから、アドバイザーからの情報や、市民の方々の声、他市の先進事例などを参考に今後、検討を進めていきます。

見附市市議会議員各位

令和 4 年 11 月 28 日

企画調整課

旧寺師医院に係る土地・建物の寄付採納の再検討について

見附市本町 1 丁目 4-46 の旧寺師医院の土地・建物について、令和 4 年 9 月 16 日の議員協議会にて、「市として寄付の申し出を受けることを前提に事務処理を進める」旨をご説明させていただきましたが、様々なご意見をいただきました。ご意見を踏まえ再検討しましたので、その内容について報告いたします。

1. 活用方針が定まっていないことについて

→ 活用方法を決定するまでに至っていませんが、寺師医院周辺地域における課題意識は認識しており、街や産業を活性化するための拠点的な施設として活用できる可能性が高いと判断することから、寄付の申し出を受けることを前提に事務処理を進めていきます。

2. 寄付を受ける際のルールが定まっていないことについて

→ 判断を行う主体や順番を定めたルールは以前より定めていたところですが、見直しを図り、ルールの修正を行います。

3. 建物内の動産（医療機器等）の処分について

→ 改めて協議し、建物内の動産は寺師医院側で全て処分いただくことになりました。

1. 活用方針が定まっていないことについて

- ・ 寺師医院周辺地域は、空き家、空き土地が増加しており、定住人口の増加やスプロール化の抑制の観点からも、何らかの対策が必要と認識しています。
- ・ 上記の課題意識を持つ中で、寺師医院については立地場所の良さと建物の状況から、課題を解決し、街や産業を活性化するための拠点的な施設として活用できる可能性が高いと判断しています。
- ・ これまで市内部で検討してきた活用方法としては、「コワーキングスペース」や「市民活動団体の活動スペース」などの案がありますが、現段階では、決定するまでに至っていない状況です。
- ・ このような案を含めて、市民の声やアドバイザーからの情報、他市の先進事例などを参考に、今後、具体的な活用方法を検討していきたいと考えております。

見附市 中長期財政計画について

令和3年度（令和4年2月）に策定した見附市中長期財政計画について、令和4年度決算額等に基づき推計を更新するとともに、新たに公表された大型建設事業の事業費等を算定に反映した令和6年4月更新版を作成しましたので報告いたします。

1. 令和5年2月更新時誤りの修正

令和4年度（令和5年2月）更新版において、令和4年度～令和12年度の歳入（区分：その他）の推計額に誤りがあり、実際よりも大きな金額（全体影響額26.1億円）となっていたものを修正しました。

2. 更新の主な内容

➤ 令和4年度決算額等の反映

令和4年度の推計額を実績額に更新。併せて推計に利用する経済指標等過去を更新。

➤ 前提条件の見直し

策定当時（R4.2月）からの状況変化等を加味し、推計額と実績額の乖離を抑えるため、臨時財政対策債等一部の前提条件を見直し。

➤ 大型建設事業を算定に反映

【新たに公表された計画の反映】

- ・次期最終処分場整備事業（期間：令和6～12年度、事業費：16.3億円）

【実施設計等によって推計額より増額となった事業を反映】

- ・見附小学校部位改修事業（期間：令和6年度、事業費：2.0億円 ⇒ 5.0億円）
- ・名木野小学校長寿命化事業（期間：令和6～7年度、事業費：14.0億円 ⇒ 19.4億円）

3. 財政状況（推計）の概要

今回の更新で令和5年度以降の歳出超過傾向がより強くなり、減債基金の取崩しを行っても、当初計画より大きな財政調整基金の取崩しが必要となっています。このため計画どおり推移した場合、財政調整基金残高は令和12年度になくなることが見込まれます。

4. 今後の取組みについて

歳入確保や歳出見直しなど、財政体質改善に向けた取り組みをより一層加速していく必要があります。

6 基金残高見込みの推移

